



ギャンブル依存症から脱却するには、自身がギャンブル依存症であることの

「学習・気づき・認知」することから始まります。

克服七つのサイクル。1 学習、2 気づき、3 認知、4 決意、5 行動、6 克服、7 完全克服

ギャンブル依存症 克服セミナー



依存症者の間違ったところが症状を進行させる ～自分はギャンブル依存症ではない～

現在日本には、予備軍も含めるとおよそ 400 万人から 500 万人のギャンブル依存症患者がいると思われ、大きな社会問題となっています。

このギャンブル依存症とは、ギャンブルをしたいといった強迫観念に抵抗できず、自己の生活基盤・価値観・仕事や学業・家族や友人などの人間関係を犠牲にしてもギャンブルを続けてしまう症状を指し、世界保健機関（WHO）^{※1}や精神科医の指摘にもあるように、専門家による治療が必要な病気の一つです。ところが、ギャンブル依存症はアルコール依存症や薬物依存症のように身体への直接的な影響が現れにくいことから、ほとんどのギャンブル依存症者とそのご家族は、依存症であることを自覚していません。

そのため依存症は進行し、自制心を失い返済の当てがない借金を重ねます。立ち直りを期待した家族が借金を肩代わりしますが止められず、ついには家族との人間関係も崩壊してしまいます。最終的には離婚により家族や信用など大切なものすべて失ってしまい、最悪、犯罪や自殺にまで至るといったケースもあります。

こうした深刻な問題を解決するためには、ギャンブル依存者とその家族が自己責任などの誤った形の対応で状況を悪化させてしまう「直接型対応」を取り止め、専門家を交える「参加型対応」を勧めていく必要があります。そのための克服方法を解説するセミナーを実施いたします。

※1 ギャンブル依存症とは WHO(世界保健機関) ICD-10 (国際疾病分類第 10 版) の第 5 章・精神及び行動の障害 (F00～F99)の中 F63 習慣及び衝動の障害 F63.0 に「病的賭博」として記述されている病気です。

【ギャンブル自問自答】

1. 確かに今は暇さえあればギャンブルをしている。しかし、ギャンブルが止められないわけではない。
ギャンブルなんていつでも止められるが、今はギャンブルをしたい。
2. 他の人と違い、自分にはギャンブルの才能がある。
たまに負けることもあるが、それは運が悪かっただけだ。次回は必ず勝てると思う。
3. ギャンブルの為に借金を作ったのは確かだ。
しかし、自分はちゃんと働いているし、他人に迷惑をかけているわけではないので問題ない。
4. ギャンブルで多くのものを失った。
だからこそ、これらをギャンブルで取り戻すまでは辞めることはできない。今辞めたら借金しか残らない。
5. ギャンブル以外は何をやっても大概退屈であり、熱中して取り組み真剣になることができない。

上記の自問自答の各項目に心当たりがある方は、ぜひご参加ください。

日 時: 12 月 14 日(土) 午後 1:00 ~ 午後 3:30 (途中退室可)

※毎月一回開催予定 日程の詳細は HP をご覧ください。

場 所: エルソーラ アエル 28 階 研修室 (仙台駅 徒歩 5 分)

仙台市青葉区中央一丁目 3-1 ☎022-268-8045

参加方法: 申込不要。直接ご来場下さい。

参加費: 1,500円(1名につき) ※当日ご持参下さい

主 催: ギャンブル依存症克服支援機関 JAGO (ジャゴー)

HP / www.jago.jp JAGO / 03-3688-6881

問 合 せ: 仙台地区担当 / 河東(かとう) 090-9034-0139

mail / jago.sendai@gmail.com

◆◆注意◆◆
H25. 12 月から
開催場所が変更
になります

こんなこと考えていませんか？

配偶者または子供がギャンブルにはまってしまった・・・
借金までして・・・ 何度もやめると約束したのに・・・ またやってしまう。
周りの人はおこづかいの範囲であそんでいるのに、どうしてこの人にはそれが出来ないのだろう???
それはきっと意志が弱いからだ！
この人はダメだ・・・
もう縁を切るしかないかな・・・

全て間違えた考え方です！



どうやら家族がギャンブル依存症という病気らしい。
色々調べてみたが、依存症は本人がやめようとしなくても限り回復しない病気らしい・・・
この人はギャンブルをやめる気配はない。
地獄に落ちるような思いをしない限りやめることは出来ないのかしら？

何度説得しても聞き入れて貰えない・・・

一般常識が通じない・・・

最後は居直る・・・ もう疲れ果てた・・・

ギャンブルの問題を持つことは、長年にわたり個人の道徳的観念の欠如や意志の弱さが原因であるとされてきましたが、近年では医学上の問題としての側面があることが知られてきています。

ある一定期間やり続けることで、脳内に依存が形成され抑制不能状態に陥り、自分の意志ではやめることが出来なくなっている状態です。

ギャンブル依存症という病に罹っている本人にむかって「やめろ！」と言ってもなんの効力もありません。しかし、ギャンブル依存症は必ず克服できる病気です。

家族には何ができるのか？

家族はどう対応したらいいのか？



セミナーに参加して一緒に学んで行きましょう！